

事務事業コード	764117	事務事業名	街なみ環境整備事業(牧園・高千穂地区)	担当部	牧園総合支所
				担当課	産業建設課
政策名	1	快適で魅力あるまちづくり		グループ	建設グループ
施策名	1	生活基盤の充実		電話番号	45-5111
基本事業名	5	景観の保全と整備		内線番号	5522
予算科目	会計	一般会計		事業期間	平成 8 年度 ~ 平成 25 年度
	款	8	土木費		
	項	5	都市計画費	根拠法令・条例等	霧島市牧園町まちづくり要綱
	目	1	都市計画総務費		
コード	764117				
関連計画	高千穂地区街なみ環境整備事業整備方針、高千穂地区街なみ環境整備事業 事業計画				

1. 現状把握 (1)事務事業の目的 <Do>

① 事業開始の理由及び事業の概要	② 事業に対する意見・要望 (誰からの意見か明記)	③ 事業に対する議会から出された意見
鹿児島県の「霧島国際芸術の森」基本構想に基づく、高千穂地区の国道223号道路拡幅改良事業の着手をきっかけに、歴史的建造物の適正な管理や活用、公共施設の整備、住宅の修景整備等を行い、地域の特性を活かした魅力ある街なみ整備を行う。	事業を行うに当たり、地元説明会を開催。地元からの要望は、整備後の維持管理について地元負担の軽減を強く要望されている。	特になし。

③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑤ 結果 (どんな結果に結びつけるのか)
ア 牧園町高千穂地区	良好な街なみが形成される	歴史的な景観や自然景観が守られる
イ		地域にあった景観が創られる

全体計画 (H8 ~ H25)	平成22年度までの実施状況	平成23年度実績	平成24年度計画
・丸尾地区ポケットパーク整備 2ヶ所 約1,100㎡ ・屋外消火栓設置 4箇所 ・通路整備 丸尾地区 約100m ・街路灯整備 166基 ・道路美装化 市道2路線約1,080m ・ごみ置き場 3箇所 ・住宅等修景 41戸	事業計画の策定 事業計画の見直し ポケットパーク整備 街路灯の設置 道路整備 屋外消火栓	道路美装化 住宅等修景整備助成	道路美装化 屋外消火栓 通路整備 ごみ置き場整備 住宅等修景整備助成
平成25年度計画	平成26年度計画	平成27年度計画	平成28年度以降計画
街路灯整備 道路美装化 ごみ置き場整備 住宅等修景整備助成			

(2)事業費

単位：千円

単位：千円

全体計画 (H8 ~ H25)				H 23年度 決算 (A)	H 24年度 計画 (B)	前年度比較 (B)-(A)	
	単独	補助	合計				
国		159,107	159,107	15,542	53,500	37,958	244% 増
県				9,088		---	---
地方債				24,630	53,500	28,870	117% 増
辺地債				11,444	26,750	15,306	134% 増
過疎債							
合併特例債							
その他							
一般財源	176,548		176,548	11,710	26,750	15,040	128% 増
計	176,548	159,107	335,655	23,154	53,500	30,346	131% 増

単位:千円

事務事業 コード	764117	事務 事業名	街なみ環境整備事業(牧園・高千穂地区)	担当部	牧園総合支所
				担当課	産業建設課

区分	全体計画 ( H 8 ~ H 25 )			平成22年度までの 実施状況			平成23年度 (実績)			平成24年度 (計画)			
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計	
事業内容 事業量	・丸尾地区ポケットパーク整備 2ヶ所 約1,100㎡ ・屋外消火栓設置 4箇所 ・通路整備 丸尾地区 約100m ・街路灯整備 166基 ・道路美化 市道2路線約1,080m ・ごみ置き場 3箇所 ・住宅等修景 41戸			事業計画の策定 事業計画の見直し ポケットパーク整備 街路灯の設置 道路整備 屋外消火栓			道路美化 住宅等修景整備助成			道路美化 屋外消火栓 通路整備 ごみ置き場整備 住宅等修景整備助成			
1 報酬													
2 給料													
3 職員手当等													
4 共済費													
7 賃金													
8 報償費													
9 旅費	6	6	12	6	6	12							
10 交際費													
11 需用費	513	125	638	513	125	638							
消耗品費	336	97	433	336	97	433							
燃料費	177	28	205	177	28	205							
食料費													
印刷製本費													
光熱水費													
修繕料													
12 役務費													
通信運搬費													
広告料													
手数料													
保険料													
13 委託料	11,033	9,274	20,307	9,626	8,014	17,640	1,407	1,260	2,667				
14 使用料及び賃借料													
15 工事請負費	136,628	121,887	258,515	107,861	93,122	200,983	3,870	3,869	7,739	9,000	9,000	18,000	
16 原材料費													
17 公有財産購入費	116		116				116		116				
18 備品購入費													
19 負担金補助・交付金	27,844	27,815	55,659	27		27	6,317	6,315	12,632	17,750	17,750	35,500	
20 扶助費													
21 貸付金													
22 補償補填及び賠償金	408		408	408		408							
23 償還金・利息・割引料													
24 投資及び出資金													
25 積立金													
26 寄附金													
27 公課費													
28 繰出金													
計	176,548	159,107	335,655	118,441	101,267	219,708	11,710	11,444	23,154	26,750	26,750	53,500	
財源内訳	国		159,107	159,107		101,267	101,267		11,444	11,444		26,750	26,750
	県												
	地方債												
	辺地債												
	過疎債												
	合併特例債												
	その他												
一般財源	176,548		176,548	118,441		118,441	11,710		11,710	26,750		26,750	
計	176,548	159,107	335,655	118,441	101,267	219,708	11,710	11,444	23,154	26,750	26,750	53,500	
補助率	国	—			—			1/2			1/2		
	県	—			—			-			-		
補助基本額	—			—			22,891			53,500			

平成23年度予算の状況

<補正予算内訳>

単位:千円

当初予算	15,542
補正予算	9,088
合計	24,630

第1回		第4回		第7回	
第2回	(7月)	9,088	第5回	流用	
第3回			第6回		

財務シート

<施設整備・設備整備・道路整備用>

単位:千円

事務事業コード	764117	事務事業名	街なみ環境整備事業(牧園・高千穂地区)	担当部	牧園総合支所
				担当課	産業建設課

区 分	平成25年度 (計画)			平成26年度 (計画)			平成27年度 (計画)			平成28年度以降 (計画)			
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計	
事業内容 事業量	街路灯整備 道路美装化 ゴミ置き場整備 住宅等修景整備助成												
1 報酬													
2 給料													
3 職員手当等													
4 共済費													
7 賃金													
8 報償費													
9 旅費													
10 交際費													
11 需用費													
消耗品費													
燃料費													
食料費													
印刷製本費													
光熱水費													
修繕料													
12 役務費													
通信運搬費													
広告料													
手数料													
保険料													
13 委託料													
14 使用料及び賃借料													
15 工事請負費	15,897	15,896	31,793										
16 原材料費													
17 公有財産購入費													
18 備品購入費													
19 負担金補助・交付金	3,750	3,750	7,500										
20 扶助費													
21 貸付金													
22 補償補填及び賠償金													
23 償還金利子・割引料													
24 投資及び出資金													
25 積立金													
26 寄附金													
27 公課費													
28 繰出金													
計	19,647	19,646	39,293										
財源内訳	国		19,646	19,646									
	県												
	地方債												
	辺地債												
	過疎債												
	合併特例債												
	その他												
	一般財源	19,647		19,647									
計	19,647	19,646	39,293										
補助率	国	1/2											
	県	-											
補助基本額	39,292												

事務事業コード	764117	事務事業名	街なみ環境整備事業(牧園・高千穂地区)	担当部	牧園総合支所
				担当課	産業建設課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的妥当性評価	① 政策体系との整合性 ・この事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	この事業を推進することにより、良好な街なみが形成され、地域にあった景観を保全できる。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	地域住民と観光客の安全性や、地域の景観の確保等に繋がるため、公共の関与が妥当である。
B 有効性評価	③ 目標達成度 ・整備目標に対して事業は順調に進んでいるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進捗している <input type="checkbox"/> 遅れている	整備計画に基づき順調に進んでいる。
	④ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	良好な景観形成や地域の安全性確保に支障がある。
C 効率性評価	⑤ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	仕様・工法等の見直しを随時行っており削減の余地はない。
	⑥ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	地域住民や関係者との協議等の主要な事業は正規職員が行う必要があり嘱託職員や委託はできないため、人件費の削減はできない。
D 公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	整備区域を設定し、住環境の整備を主に行う事業であることから受益者へ負担を求めることはできないが、整備後の施設維持管理は地域にお願いしている。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	道路美装化では、街なみに配慮した歩道のカラー舗装だけでなく、バリアフリーにも努めた。また、住宅等修景整備助成では、助成希望者と協議を行い、事業計画の調整に努めた。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 具体的な改善計画 (又は廃止・休止すべきとした場合の理由)
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善 [有効性③④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率⑤⑥の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑦の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(2) 具体的な改善計画は不要	

事務事業コード	764316	事務事業名	コミュニティ広場整備事業	担当部	建設部
				担当課	都市計画課
政策名	1	快適で魅力あるまちづくり		グループ	都市整備G
施策名	1	生活基盤の充実		電話番号	45-5111
基本事業名	7	公園・広場等の整備		内線番号	2881
予算科目	会計	一般会計		事業期間	平成 22 年度 ~ 平成 23 年度
	款	8	土木費		
	項	5	都市計画費	根拠法令・条例等	都市公園法 国分緑の基本計画
	目	4	公園費		
コード	764316				
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的 <Do>

① 事業開始の理由及び事業の概要	② 事業に対する意見・要望 (誰からの意見か明記)	③ 事業に対する議会から出された意見
都市化が進む本市に於いては、健康で潤いのある生活空間となる公園の整備が必要である。特に、地域住民からは、交流・ふれあいの場として身近に利用できる公園の整備が求められている。そこで都市の緑の保全と創出に関する施策をより計画的に推進できるように、国分地区では平成14年度に『緑の基本計画』を策定している。その中では、都市公園の規模種別を勘案し、面積の大きい公園から身近に利用できる小規模な公園まで、均衡の取れた配置計画を行っている。この事業は、地区住民が日常的に利用出来る小規模な街区公園の整備を計画的に行うものである。平成7年度から平成16年度までに9箇所のコミュニティ広場を整備しており、平成20年度から新たに2箇所のコミュニティ広場を整備するものである。	『緑の基本計画』に、コミュニティ広場(街区公園)の整備が計画されている地域から、早期着手に向けての地区要望や意見が寄せられている。	議会からも、早期着手に向けての地区要望や意見が寄せられている。

③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑤ 結果 (どんな結果に結びつけるのか)
ア 市民	日常のコミュニケーションや休息、スポーツレクリエーション、ふれあいの場、災害時の避難地として利用してもらう	ゆとりやすらぐ場が確保される
イ 公園	公園面積が増える	ゆとりやすらぐ場が確保される

全体計画 (H 22 ~ H 23)	平成22年度までの実施状況	平成23年度実績	平成24年度計画
○広場整備 ・広場整備工事 ・便所、休憩所設置工事	○広場整備 ・設計委託(広場整備・便所) ・用地取得 ・広場整備工事(歩道・広場等)	○広場整備 ・広場整備工事(便所・広場等) ・用地取得 ※用地取得に時間を要し、工事費についてはH23→H24に繰越	○広場整備 ・広場整備工事(芝舗装・駐車場等) ・休憩所、遊具設置工事 ・植栽 ※H23の繰越予算にて整備を行う
平成25年度計画	平成26年度計画	平成27年度計画	平成28年度以降計画

(2)事業費

単位：千円

単位：千円

全体計画 (H 22 ~ H 23)			
	単独	補助	合計
国		43,860	43,860
県			
地方債	121,600		
辺地債			
過疎債			
合併特例債	121,600		121,600
その他			
一般財源	10,323		10,323
計	131,923	43,860	175,783

	H 23年度 決算 (A)	H 24年度 計画 (B)	前年度比較 (B)-(A)	
当初予算額	82,587	24,312	▲ 58,275	71% 減
補正及び流用	7,000		---	---
予算合計	89,587	24,312	▲ 65,275	73% 減
国庫補助金				
県支出金				
地方債	58,700	23,000	▲ 35,700	61% 減
その他				
一般財源	6,234	1,312	▲ 4,922	79% 減
支出合計	64,934	24,312	▲ 40,622	63% 減

単位:千円

事務事業コード	764316	事務事業名	コミュニティ広場整備事業	担当部	建設部
				担当課	都市計画課

区分	全体計画 ( H 22 ~ H 23 )			平成22年度までの 実施状況			平成23年度 (実績)			平成24年度 (計画)			
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計	
事業内容 事業量	○広場整備 ・広場整備工事 ・便所、休憩所設置工事			○広場整備 ・設計委託(広場整備・便所) ・用地取得 ・広場整備工事(歩道・広場等)			○広場整備 ・広場整備工事(便所・広場等) ・用地取得 ※用地取得に時間を要し、工事費についてはH23→H24に繰越			○広場整備 ・広場整備工事(芝舗装・駐車場等) ・休憩所、遊具設置工事 ・植栽 ※H23の繰越予算にて整備を行う			
1 報酬													
2 給料													
3 職員手当等													
4 共済費													
7 賃金													
8 報償費													
9 旅費													
10 交際費													
11 需用費													
消耗品費													
燃料費													
食料費													
印刷製本費													
光熱水費													
修繕料													
12 役務費													
通信運搬費													
広告料													
手数料													
保険料													
13 委託料	574	1,890	2,464	574	1,890	2,464							
14 使用料及び賃借料													
15 工事請負費	67,020	41,970	108,990	20	41,970	41,990	42,688		42,688	24,312		24,312	
16 原材料費													
17 公有財産購入費	63,648		63,648	42,083		42,083	21,565		21,565				
18 備品購入費													
19 負担金補助・交付金	681		681				681		681				
20 扶助費													
21 貸付金													
22 補償補填及び賠償金													
23 償還金利子・割引料													
24 投資及び出資金													
25 積立金													
26 寄附金													
27 公課費													
28 繰出金													
計	131,923	43,860	175,783	42,677	43,860	86,537	64,934		64,934	24,312		24,312	
財源内訳	国		43,860		43,860	43,860							
	県												
	地方債	121,600		121,600	39,900		39,900	58,700		58,700	23,000		23,000
	辺地債												
	過疎債												
	合併特例債	121,600		121,600	39,900		39,900	58,700		58,700	23,000		23,000
	その他												
一般財源	10,323		10,323	2,777		2,777	6,234		6,234	1,312		1,312	
計	131,923	43,860	175,783	42,677	43,860	86,537	64,934		64,934	24,312		24,312	
補助率	国	—			—			—			—		
	県	—			—			—			—		
補助基本額	—			—			—			—			

平成23年度予算の状況

<補正予算内訳>

単位:千円

当初予算	82,587
補正及び流用	7,000
合計	89,587

第1回		第4回		第7回	
第2回		第5回		流用	7,000
第3回		第6回			

財務シート

<施設整備・設備整備・道路整備用>

単位:千円

事務事業コード	764316	事務事業名	コミュニティ広場整備事業	担当部	建設部
				担当課	都市計画課

区 分	平成25年度 (計画)			平成26年度 (計画)			平成27年度 (計画)			平成28年度以降 (計画)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
事業内容 事業量												
1 報酬												
2 給料												
3 職員手当等												
4 共済費												
7 賃金												
8 報償費												
9 旅費												
10 交際費												
11 需用費												
消耗品費												
燃料費												
食料費												
印刷製本費												
光熱水費												
修繕料												
12 役務費												
通信運搬費												
広告料												
手数料												
保険料												
13 委託料												
14 使用料及び賃借料												
15 工事請負費												
16 原材料費												
17 公有財産購入費												
18 備品購入費												
19 負担金補助・交付金												
20 扶助費												
21 貸付金												
22 補償補填及び賠償金												
23 償還金・利子・割引料												
24 投資及び出資金												
25 積立金												
26 寄附金												
27 公課費												
28 繰出金												
計												
財源内訳	国											
	県											
	地方債											
	辺地債											
	過疎債											
	合併特例債											
	その他											
	一般財源											
計												
補助率	国											
	県											
補助基本額												

事務事業コード	764316	事務事業名	コミュニティ広場整備事業	担当部	建設部
				担当課	都市計画課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的妥当性評価	① 政策体系との整合性 ・この事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市民にとって身近な公園を整備することにより、ゆとりと安らぎの場が確保できることとなり、上位施策(生活基盤の充実)に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市民に身近な公園の整備は採算性がない(利用料金が発生しない)ため、民間等がこのような公園を整備することはないため。
B 有効性評価	③ 目標達成度 ・整備目標に対して事業は順調に進んでいるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進捗している <input type="checkbox"/> 遅れている	平成23年度の完成予定であったが、用地取得に時間を要したことから、平成24年度完成となった。
	④ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	『緑の基本計画』に基づき、地区民が身近に利用できる公園を配置計画のもと年次計画により実施するものであるため、廃止・休止した場合には、街区公園の配置の均衡が取れない。
C 効率性評価	⑤ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	造成用土砂を他工事からの残土流用を行いコスト削減を図った。
	⑥ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	グループ制を活かして、業務時間の削減を図った。
D 公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	本事業は、公園の少ない地区を対象とする事業であり、その他の公園の少ない地域については他事業(国庫補助事業等)で公園整備を進めている為、公平・公正である。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	公園整備については、地区関係者と協議しながら進めることができた。また、本年度もコスト削減を図りながら事業実施を行った。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 具体的な改善計画 (又は廃止・休止すべきとした場合の理由)
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善 [有効性③④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率⑤⑥の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑦の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続	



事務事業コード	764210	事務事業名	まち交街路整備事業(国分中央)	担当部	建設部
				担当課	都市計画課
政策名	1	快適で魅力あるまちづくり		グループ	都市整備G
施策名	2	交通体系の充実		電話番号	45-5111
基本事業名	1	道路ネットワークの構築		内線番号	2881
予算科目	会計	一般会計		事業期間	平成 19 年度 ~ 平成 23 年度
	款	8	土木費		
	項	5	都市計画費	根拠法令・条例等	都市計画法 道路法 土地収用法 都市再生特別措置法
	目	3	街路事業費		
コード	764210				
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的 <Do>

① 事業開始の理由及び事業の概要	② 事業に対する意見・要望 (誰からの意見か明記)	③ 事業に対する議会から出された意見
<p>市で作成した都市再生整備計画に基づき、中心市街地にある平和通線、向花清水線及び川跡線は、骨格道路として整備事業を開始している。</p> <p>都市計画道路等の整備により、中心市街地の活性化や歩行者の回遊性の向上を図るもので、歩道の設置、道路の拡幅、道路の舗装を行うものである。</p> <p>①補償物件の調査、②用地取得、③工事の施工</p>	<p>都市計画決定より長期の年数が経過しているため、早期の事業完成を地元住民から要望されている。</p> <p>特に道路が狭く、歩行者の通行や車の離合がしにくいことや都市計画法第53条の規定により建築制限が行われていることもあり地権者からは早期の着手が要望されている。</p>	<p>特になし。</p>

③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑤ 結果 (どんな結果に結びつけるのか)
ア 道路利用者(車両及び歩行者)	安全かつスムーズに通行できる。	安全・快適に移動ができる
イ 事業用地の地権者、建物等所有者及び借家人など利害関係人	地権者、利害関係人の理解協力を得ながら事業用地として必要な土地を提供してもらう。	安全・快適に移動ができる

全体計画 (H19 ~ H23)	平成22年度までの実施状況	平成23年度実績	平成24年度計画
道路改良工事 699m	測量等業務委託 7件 道路改良工事 594m 用地買収 19件 2158㎡ 建物等補償 25件	道路改良工事 90m 委託 2件 用地買収 8件 266㎡ 建物等補償 5件 ポケットパーク工事 一式	
平成25年度計画	平成26年度計画	平成27年度計画	平成28年度以降計画

(2)事業費

単位：千円

単位：千円

全体計画 (H19 ~ H23)			
	単独	補助	合計
国		225,760	225,760
県			
地方債		373,720	
辺地債			
過疎債			
合併特例債		373,720	373,720
その他			
一般財源	41,308	21,435	62,743
計	41,308	620,915	662,223

	H23年度 決算(A)	H24年度 計画(B)	前年度比較 (B)-(A)	
当初予算額	58,559		▲ 58,559	100% 減
補正及び流用	-127		---	---
予算合計	58,432		▲ 58,432	100% 減
国庫補助金	10,470		▲ 10,470	100% 減
県支出金				
地方債	42,600		▲ 42,600	100% 減
その他				
一般財源	5,360		▲ 5,360	100% 減
支出合計	58,430		▲ 58,430	100% 減

単位:千円

事務事業コード	764210	事務事業名	まち交街路整備事業(国分中央)	担当部	建設部
				担当課	都市計画課

区分	全体計画 ( H 19 ~ H 23 )			平成22年度までの 実施状況			平成23年度 (実績)			平成24年度 (計画)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
事業内容 事業量	道路改良工事 699m			測量等業務委託 7件 道路改良工事 594m 用地買収 19件 2158㎡ 建物等補償 25件			道路改良工事 90m 委託 2件 用地買収 8件 266㎡ 建物等補償 5件 ポケットパーク工事 一式					
1 報酬												
2 給料	14,718	12,726	27,444	14,718	12,726	27,444						
3 職員手当等	14,303		14,303	14,303		14,303						
4 共済費	8,351		8,351	8,351		8,351						
7 賃金	1,023	2,085	3,108	1,023	2,085	3,108						
8 報償費												
9 旅費	14	51	65	14	51	65						
10 交際費												
11 需用費	718	3,723	4,441	718	3,723	4,441						
消耗品費	531	2,714	3,245	531	2,714	3,245						
燃料費	187	839	1,026	187	839	1,026						
食料費												
印刷製本費		170	170		170	170						
光熱水費												
修繕料												
12 役務費		734	734		734	734						
通信運搬費		367	367		367	367						
広告料												
手数料		367	367		367	367						
保険料												
13 委託料	1,608	24,854	26,462	138	20,884	21,022	1,470	3,970	5,440			
14 使用料及び賃借料	562	70	632	562	70	632						
15 工事請負費		161,326	161,326		135,340	135,340		25,986	25,986			
16 原材料費												
17 公有財産購入費	4	125,445	125,449	3	119,295	119,298	1	6,150	6,151			
18 備品購入費												
19 負担金補助・交付金												
20 扶助費												
21 貸付金												
22 補償補填及び賠償金	7	289,901	289,908	6	269,049	269,055	1	20,852	20,853			
23 償還金・利息・割引料												
24 投資及び出資金												
25 積立金												
26 寄附金												
27 公課費												
28 繰出金												
計	41,308	620,915	662,223	39,836	563,957	603,793	1,472	56,958	58,430			
財源内訳	国		225,760	225,760		215,290	215,290		10,470	10,470		
	県											
	地方債		373,720	373,720		331,120	331,120		42,600	42,600		
	辺地債											
	過疎債											
	合併特例債		373,720	373,720		331,120	331,120		42,600	42,600		
	その他											
	一般財源	41,308	21,435	62,743	39,836	17,547	57,383	1,472	3,888	5,360		
計	41,308	620,915	662,223	39,836	563,957	603,793	1,472	56,958	58,430			
補助率	国	—			—			—				
	県	—			—			—				
補助基本額	620,915			563,957			56,956					

平成23年度予算の状況

<補正予算内訳>

単位:千円

当初予算	58,559
補正及び流用	(127)
合計	58,432

第1回		第4回		第7回	
第2回		第5回		流用	(127)
第3回		第6回			

財務シート

<施設整備・設備整備・道路整備用>

単位:千円

事務事業コード	764210	事務事業名	まち交街路整備事業(国分中央)	担当部	建設部
				担当課	都市計画課

区 分	平成25年度 (計画)			平成26年度 (計画)			平成27年度 (計画)			平成28年度以降 (計画)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
事業内容 事業量												
1 報酬												
2 給料												
3 職員手当等												
4 共済費												
7 賃金												
8 報償費												
9 旅費												
10 交際費												
11 需用費												
消耗品費												
燃料費												
食料費												
印刷製本費												
光熱水費												
修繕料												
12 役務費												
通信運搬費												
広告料												
手数料												
保険料												
13 委託料												
14 使用料及び賃借料												
15 工事請負費												
16 原材料費												
17 公有財産購入費												
18 備品購入費												
19 負担金補助・交付金												
20 扶助費												
21 貸付金												
22 補償補填及び賠償金												
23 償還金・利子・割引料												
24 投資及び出資金												
25 積立金												
26 寄附金												
27 公課費												
28 繰出金												
計												
財源内訳	国											
	県											
	地方債											
	辺地債											
	過疎債											
	合併特例債											
	その他											
	一般財源											
計												
補助率	国											
	県											
補助基本額												

事務事業コード	764210	事務事業名	まち交街路整備事業(国分中央)	担当部	建設部
				担当課	都市計画課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的妥当性評価	① 政策体系との整合性 ・この事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	車道や歩道を確保することにより、市民や道路利用者が安全・快適に移動することができる。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市道整備は、市の義務であり、通行車両、歩行者の安全を確保する観点からも妥当である。
B 有効性評価	③ 目標達成度 ・整備目標に対して事業は順調に進んでいるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進捗している <input type="checkbox"/> 遅れている	まち交街路整備事業(国分中央)の1期計画はH23年度で完了である。
	④ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	事業を休止・廃止すると、安全・快適な通行ができない部分が残る。
C 効率性評価	⑤ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	適切な工法を検討し、工事費の積算を行った。また買収単価は土地鑑定を行って適切な価格での買収を行った。
	⑥ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	適切な工法を検討し、工事発注を行った。また用地交渉は地権者に平日時間内にお願ひし、地権者の都合により必要最小限で時間外交渉を行った。
D 公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	不特定多数の人が、道路を利用するので公平公正である。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	地権者の協力を得て、土地買収、工事とも順調に事業を進められた。まち交街路整備事業(国分中央)の1期計画が、H23年度で完了したことから、引き続き、2期計画を作成し、都市計画道路等の早期整備により、中心市街地の活性化や歩行者の回遊性の向上を図る必要がある。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 具体的な改善計画 (又は廃止・休止すべきとした場合の理由)
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善 [有効性③④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率⑤⑥の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑦の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(2) 具体的な改善計画は不要	

事務事業コード	764273	事務事業名	街路整備事業	担当部	建設部	
政策名	1	快適で魅力あるまちづくり		担当課	都市計画課	
施策名	2	交通体系の充実		グループ	都市整備G	
基本事業名	1	道路ネットワークの構築		電話番号	45-5111	
				内線番号	2881	
予算科目	会計	一般会計				
	款	8 土木費	項	5 都市計画費	目	3 街路事業費
				コード	764273	

1. 現状把握 (1)事務事業の目的 <Do>

単位：千円

③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑤ 結果 (どんな結果に結びつけるのか)
市民 街路 自動車の利用者・歩行者	通行の安全が確保できる。 快適に移動できるようになる。	安全・快適に移動ができる

番号	路線名等	平成23年度		平成24年度		完了予定	備考
		区分	実績	区分	計画		
1	宮内線	継続	舗装工事(車道) L=282m 歩道整備 L=232m	継続	歩道整備 L=364m	H 24	H23→H24 繰越 11,510千円
		隼人	26,749	隼人	30,510		
2	日当山線	新規	測量設計委託一式	継続	用地調査委託 用地補償一式	H 28	H23→H24 繰越 10,000千円
		隼人	0	隼人	55,000		
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							

<地区別>

継続 = 1 新規 = 1 継続 = 2 新規 = 0

		H 23	H 24	<全体事業費>	平成23年度決算(A)	平成24年度計画(B)	前年度比較(B)-(A)
国分				事業費	26,749	85,510	58,761
溝辺				事務費			0
横川				合計	2路線 26,749	2路線 85,510	0 58,761
牧園				<財源内訳>			
霧島					平成23年度決算(A)	平成24年度計画(B)	前年度比較(B)-(A)
隼人	2	2		国庫補助金	9,058	30,250	21,192
福山				県支出金			0
				地方債	16,800	52,300	35,500
				その他			0
				一般財源	891	2,960	2,069
				合計	26,749	85,510	58,761

(2)事務事業に対する住民意見等

① 誰からどんな意見や要望が寄せられているか？ 日当山線の道路拡幅について、富隈地区自治公民館や鹿児島工業高等専門学校より、早期着工、早期完成の要望が寄せられている。	② この事務事業に対する議会から出された意見 宮内線の歩道について、景観に配慮した歩道整備が必要であるとの意見が出された。
--	--

事務事業 コード	764273	事務 事業名	街路整備事業	担当部	建設部
				担当課	都市計画課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	車道や歩道を確保することにより、市民や道路利用者が安全・快適に移動することができる。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	公共施設の整備は、市の義務であり、幹線道路を整備する事は妥当である。
B 有効性評価	③ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	事業を休止・廃止すると、安全・快適な通行ができない部分が残る。
C 効率性評価	④ 事業費の削減余地 ・仕様や工法の適正化等により事業費を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	設計段階において、工法の詳細検討を実施して、よりコスト削減を図っている。
	⑤ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	事業に関しては最低限の職員数で担当している。また、可能な限り用地交渉、工事管理監督業務は勤務時間内で対応することで人件費の抑制を行っている。
D 公平性評価	⑥ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	不特定多数の人が、道路を利用するので公平公正である。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果 A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 事業説明会を開き、地権者への理解と協力をお願いした。 また、道路整備工事については、地元通会と協議をしながら、進めることができた。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 具体的な改善計画 (又は廃止・休止すべきとした場合の理由)
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性③の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性③の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善 [有効性③の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性④⑤の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続	